2013年3月期　第2四半期
決算説明会

2012年11月20日

あすか製薬株式会社

2013年3月期　第2四半期　総括

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

2013年3月期第2四半期連結決算の概況

（金額単位：百万円）

	2012年3月期 第2四半期累計	2013年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	19,990	20,138	0.7%
営業利益	430	637	48.1%
経常利益	555	772	39.1%
特別損益	△113	359	―
四半期純利益	84	740	780.1%

総括

- 薬価引き下げや震災（放射線による風評被害を含む）による影響等、厳しい状況であったが、市場の回復に努めた結果、売上高は前年同期比0.7%増加した
- 利益面では、販売費及び一般管理費の削減　および下期へのずれ込み等により、営業利益、経常利益とも増益となった
- 特別利益の計上もあり、四半期純利益は7億4千万円と増益となった
- 2013年3月期見通し（百万円）
  - 売上高　：41,700　営業利益：1,100　　経常利益：　1,400　　純利益　　：　750

中期経営計画「ASKA PLAN 2012」見通し

数値目標については、現時点の業績見通しでは、最終年度の当初目標
（連結売上高480億円、連結営業利益30億円）の達成は困難な状況

要 因	■ 東日本大震災の影響 ■ 後発医療用医薬品事業の遅れ

その他の目標については、概ね順調に推移	新製品	ミンクリア、ノルレボ発売／フェブリク（コ・プロモーション）
	ライフサイクルマネジメント	アルタット 小児用法・用量追加、剤形追加 リピディル 新剤形／チラーヂン 規格追加
	研究開発	AKP-002導出 リファキシミン、ウリプリスタール等、次期新製品の開発促進
	コスト削減	販管費削減

収益の改善を課題とし、次期中期経営計画を策定

上期のトピックス

1. 生産設備の拡充
2. ライフサイクルマネジメント
   チラーチンS錠規格追加／アルタット剤形追加
3. 「フェブリク」 共同販促
4. 「ノルレボ錠」 適正使用の推進

① 生産設備の拡充

いわき工場敷地内に新品質管理棟を建設

- 品質管理体制の強化
- 増産や新製品の生産体制にも対応

委託製造先の拡充、在庫の積み増し、物流拠点の分散などこれまで行ってきた生産・流通体制の強化に加え、品質確保に向けた整備を進めることにより、総合的な安定供給体制の構築を図る



- 2012年8月　着工
- 2013年4月　完成予定

② ライフサイクルマネジメント

規格追加、剤形追加により服用の利便性を向上

チラーヂンS錠12.5μg, 75μg　6月29日発売

規格追加

- 規格を増やすことにより様々な処方に対応



アルタット細粒20%　7月11日発売

剤形追加

- 製剤的工夫により小児から高齢者まで服用しやすい細粒剤



チラーヂンS錠のシェアは回復、
処方ベースで前年同期比114%で推移

③「フェブリク」 共同販促　― 帝人ファーマ(株)―

痛風・高尿酸血症治療剤　新薬「フェブリク」(一般名：フェブキソスタット)のコ・プロモーションを7月より開始

重点領域としている泌尿器科に新薬のプロモーションが出来ることがプラスになる

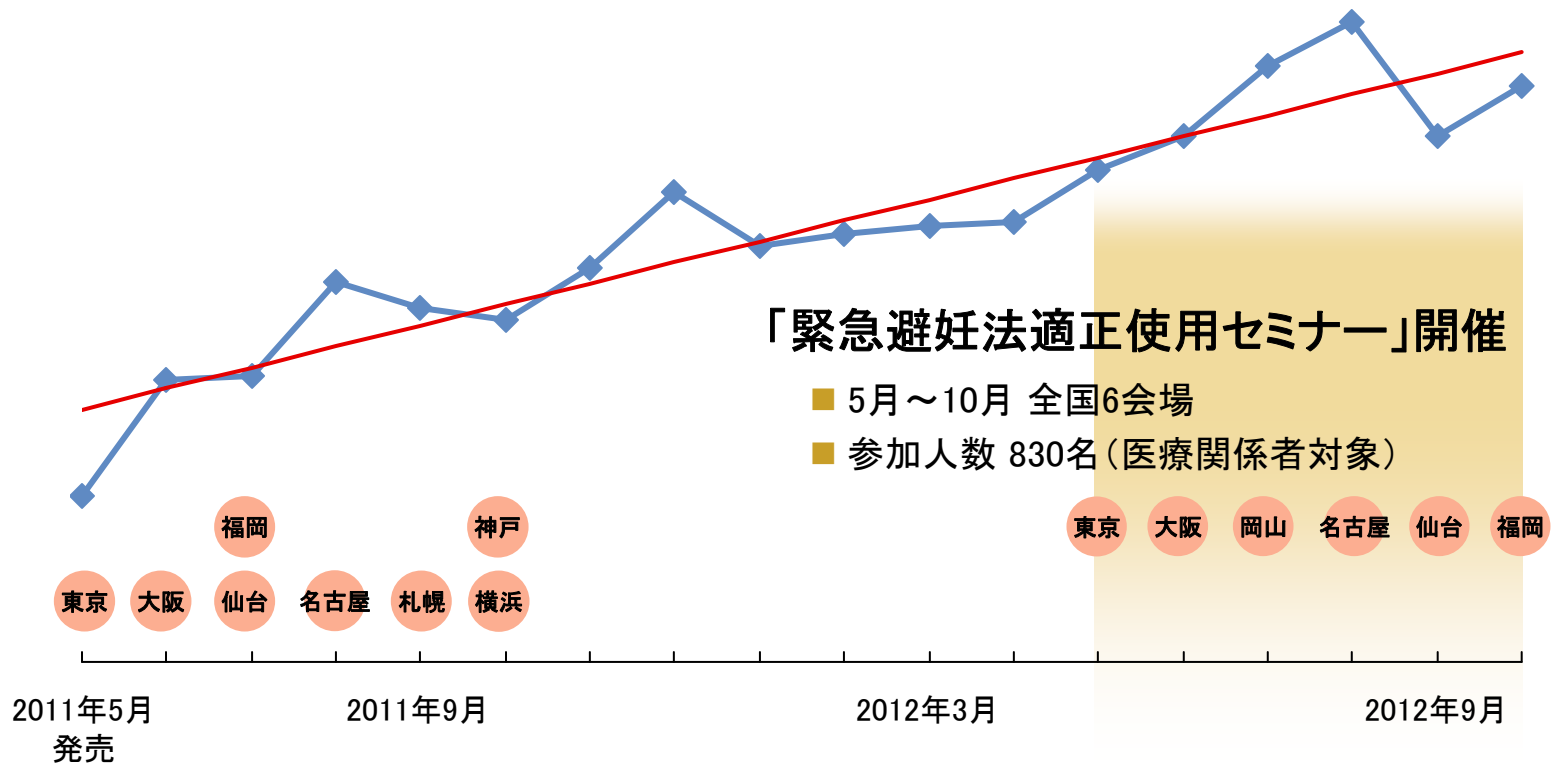
今後もフェブリクの売上拡大に協力していく

④「ノルレボ錠」 適正使用の推進

啓発活動を通じ、適正使用の浸透を図り、女性のQOL向上をサポート

売上推移

2013年3月期
第2四半期　実績
2.3億円



2013年3月期下期以降の取り組み

下期の取り組み

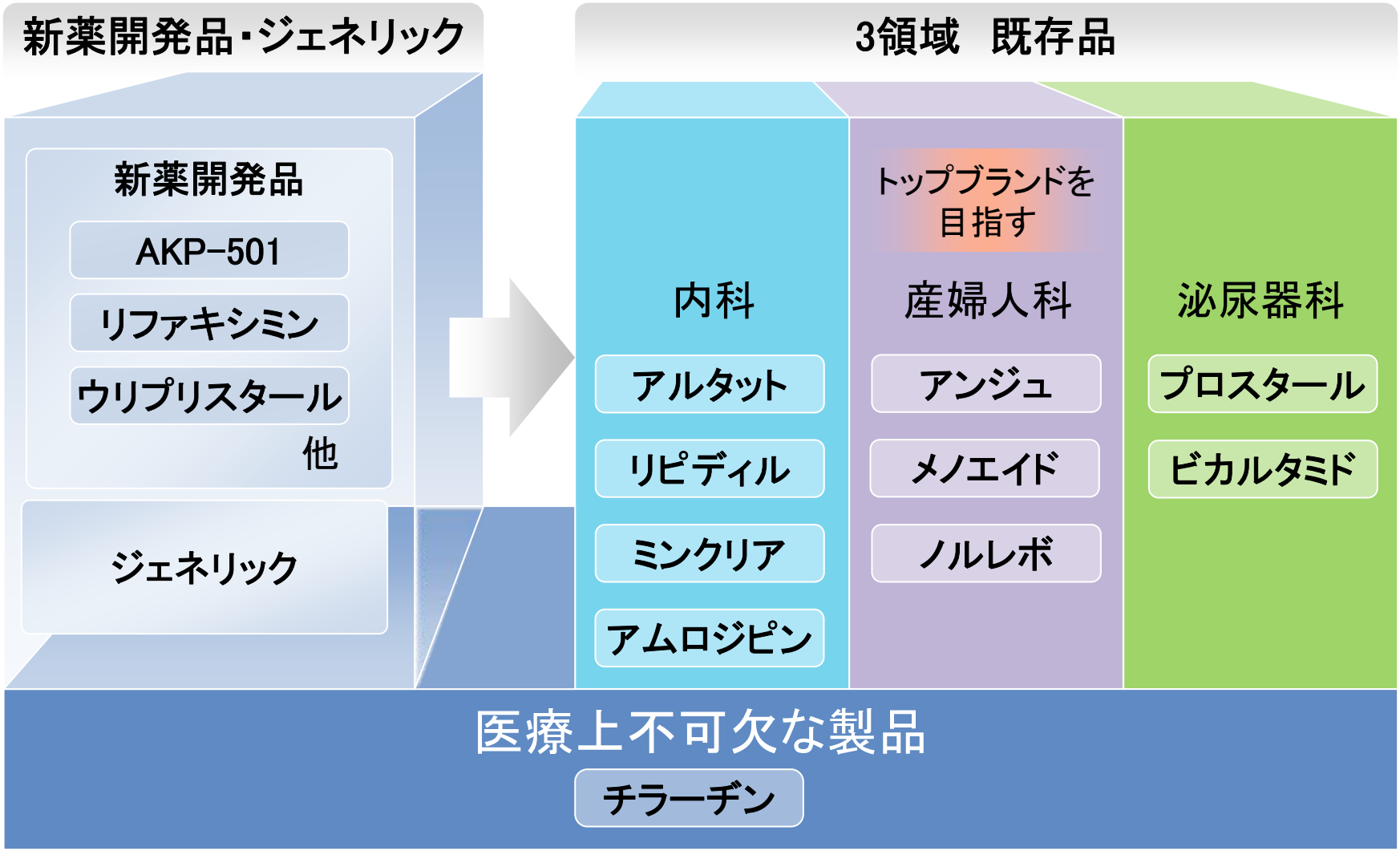
震災による影響は回復しつつあるが、競争激化など引き続き厳しい状況にある
下期も、中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、売上拡大と利益確保に努め、2013年度から始まる新しい中期経営計画につなげる

1 重点3領域（内科・産婦人科・泌尿器科）への更なる入力強化

2 次期新製品の開発促進

3 ジェネリック医薬品　－ 新発売品の育成 －

① 重点3領域（内科・産婦人科・泌尿器科）への更なる入力強化



② 次期新製品の開発促進

L-105（リファキシミン）、CDB-2914（ウリプリスタール）の開発に優先して取り組み、早期上市を目指す

研究開発の状況（2012年11月現在）

開発コード / 適応	Ph Ⅰ	Ph Ⅱ	Ph Ⅲ
※GPD-1116 COPD、気管支喘息			
L-105（リファキシミン） 肝性脳症、IBS、クローン病			Ph Ⅱ / Ⅲ
※AKP-001 炎症性腸疾患（IBD）			
AKP-501 不妊症			
CDB-2914（ウリプリスタール） 子宮筋腫、緊急避妊			
AKP-008〔黄体ホルモン（プロゲステロン）剤〕 IVF-ET			
※AKP-002 前立腺肥大症に伴う排尿障害	アステラス製薬へ導出		

※自社開発品

内科　婦人科　泌尿器科

③ ジェネリック医薬品　－ 新発売品の育成 －

あすか製薬とあすかActavis製薬で協同し、販売活動を実施する

新発売品　（2012年12月発売）

製品名	一般名（先発品）	薬効分類
モサプリドクエン酸塩錠2.5mg/5mg「AA」	モサプリド（ガスモチン錠）	消化管運動機能改善剤
オロパタジン塩酸塩錠2.5mg/5mg「AA」	オロパタジン（アレロック錠）	アレルギー性疾患治療剤
クエチアピン錠25mg/100mg/200mg「AA」	クエチアピン（セロクエル錠）	抗精神病剤
ラフチジン錠5mg/10mg「AA」	ラフチジン（プロテカジン錠）	消化性潰瘍用剤
アムロジピン錠10mg「あすか」（規格追加）	アムロジピン（アムロジン錠／ノルバスク錠）	降圧剤

次年度以降の発売予定

- 2013年　9成分
- 2014年　3成分

Watson社のActavis買収によるあすか製薬の取り組み

Watson社、新社名“アクタビス（Actavis）”を発表（2012/11/1）

- 2013年新会社名採用
- ロゴ刷新により業界最大のメーカーを目指す
- アクタビスの世界最大規模のレジストレーションへ

2012年売上高80億ドル（約6,400億円） 世界第3位の後発品企業誕生

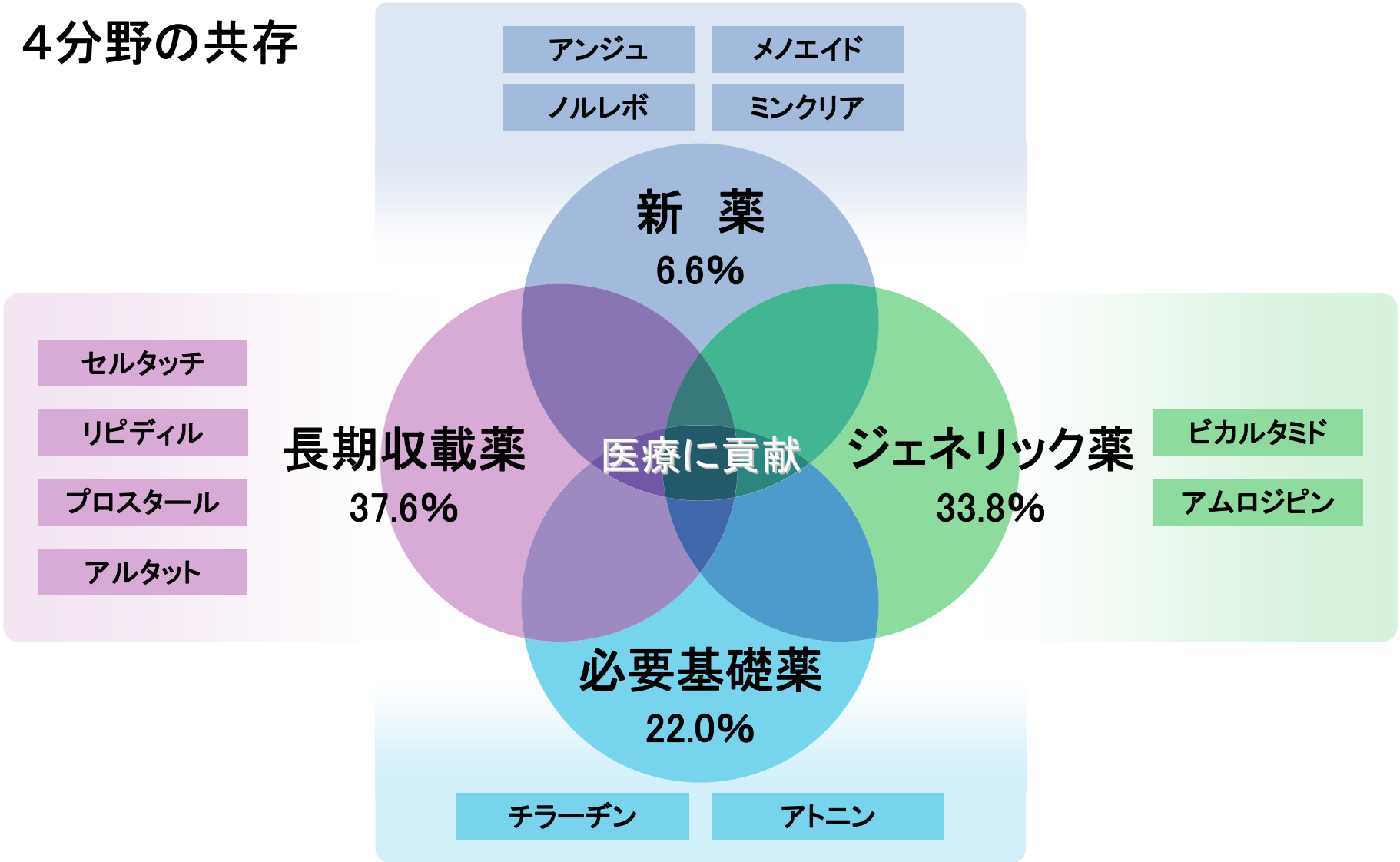
あすかActavis製薬株式会社

合弁会社はこれまで通り継続する

- 日本国内におけるActavis（旧Watson社）のジェネリック医薬品事業を推進する
- 豊富なActavisの泌尿器科・産婦人科領域の製品ラインナップを国内導入
- オンコロジー製品の導入とビジネスの更なる拡大

事業展開の基本方針

4分野の共存



2013年3月期　第2四半期
連結決算概要

あすか製薬株式会社
常務取締役　大竹 充

損益計算書(連結)

(金額単位:百万円)

	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	19,990	20,138	147	0.7%
売上原価	11,026	11,326	300	2.7%
売上総利益	8,966	8,809	△156	△1.7%
販売費及び一般管理費	8,535	8,171	△363	△4.3%
営業利益	430	637	207	48.1%
経常利益	555	772	217	39.1%
特別損益	△113	359	472	― %
四半期純利益	84	740	656	780.1 %

事業別売上高(連結)

(金額単位:百万円)

	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	18,113	18,187	90.3%	74	0.4%
動物用医薬品	1,751	1,823	9.1%	72	4.1%
その他	126	127	0.6%	0	0.5%
合計	19,990	20,138	100%	147	0.7%

要因

- 医療用医薬品:主力品の競争激化、後発医療用医薬品の伸張
  新発売品の加算(アルタット細粒、チラーヂンS錠新規格、後発医療用医薬品3品)
- 動物用医薬品:畜水産事業の伸張

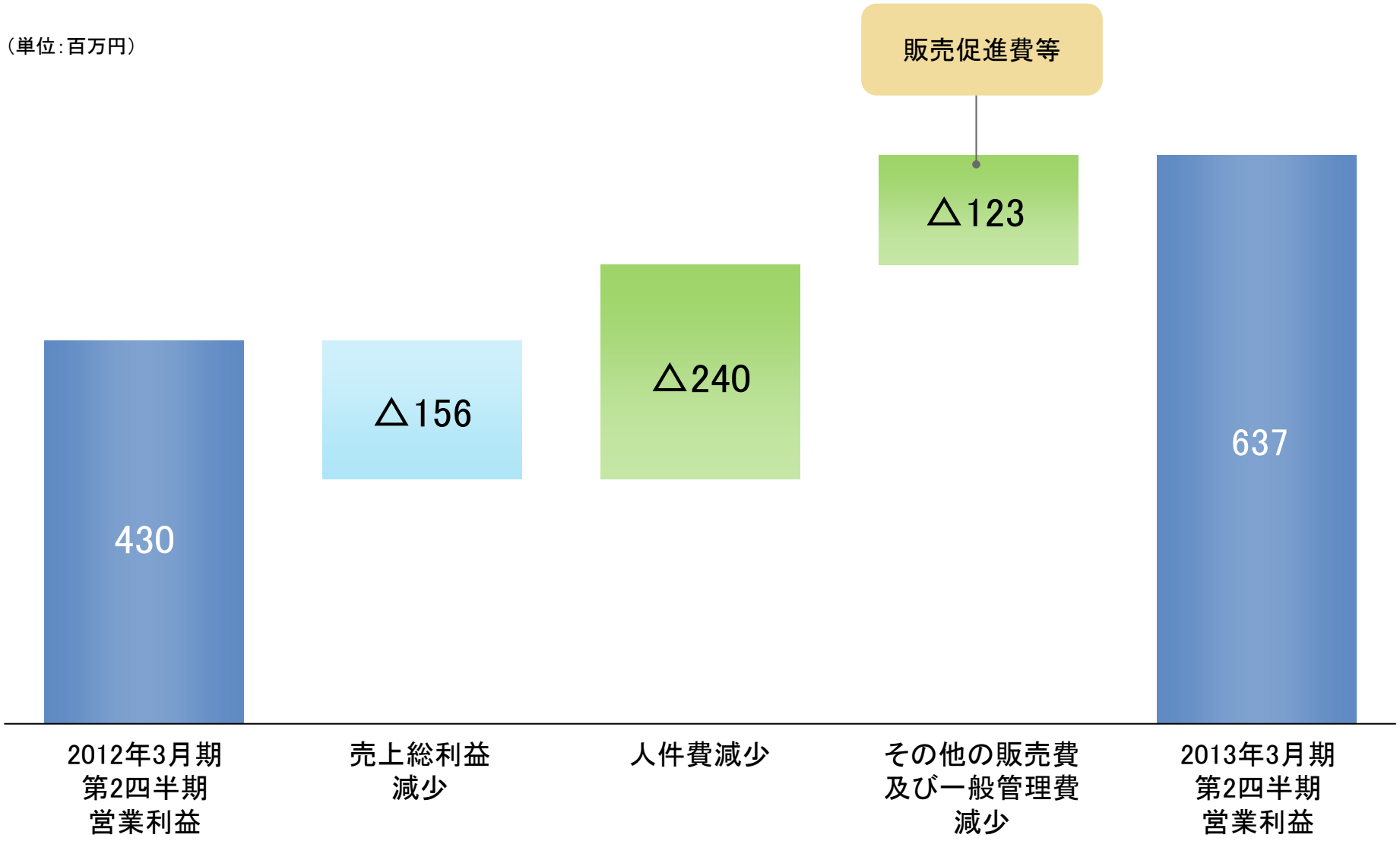
主要製品売上高

領域	製品	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期		2013年3月期	
		実績(百万円)	実績(百万円)	前同比(%)	予想(億円)	前年比(%)
内科	セルタッチ	4,075	2,893	71.0	56.5	81.7
	チラーヂン	2,309	2,397	103.8	46.1	97.2
	アルタット	916	848	92.6	18.2	107.5
	リピディル	2,148	1,856	86.4	46.5	96.1
	※ アムロジピン「あすか」	688	881	128.1	18.2	126.6
	※ ラミアン	247	331	134.1	6.7	121.6
産婦人科	アンジュ	589	603	102.3	14.2	117.8
	メノエイド	164	226	137.7	5.2	123.6
	ノルレボ	179	231	129.5	7.8	203.5
	※ HMG	316	321	101.4	6.6	97.5
	※ ゴナピュール	91	162	177.0	3.3	130.8
泌尿器科	プロスタール	1,240	1,033	83.3	22.0	102.1
	※ ビカルタミド	967	936	96.8	21.2	109.5
	※ リストリーム	318	290	91.2	7.5	128.7
計		14,255	13,015	91.3	279.9	100.7
主要製品計・(主要製品／医療用医薬品)%		78.7%	71.6%		73.5%	

※後発医療用医薬品

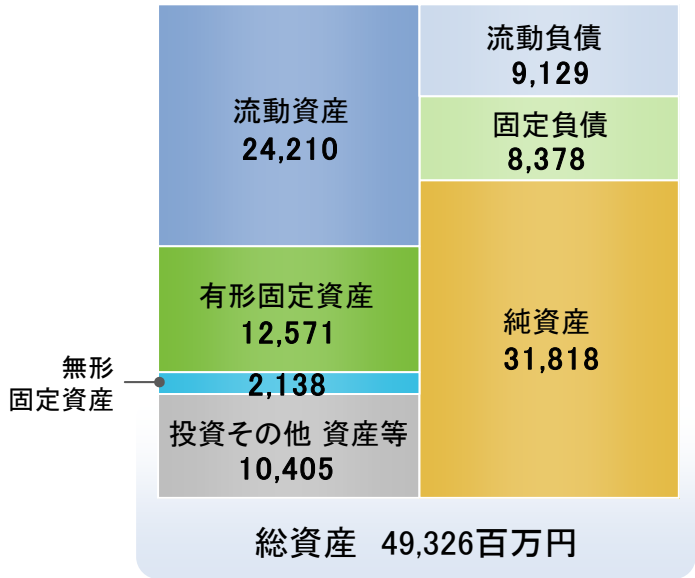
営業利益増減益分析

（単位：百万円）

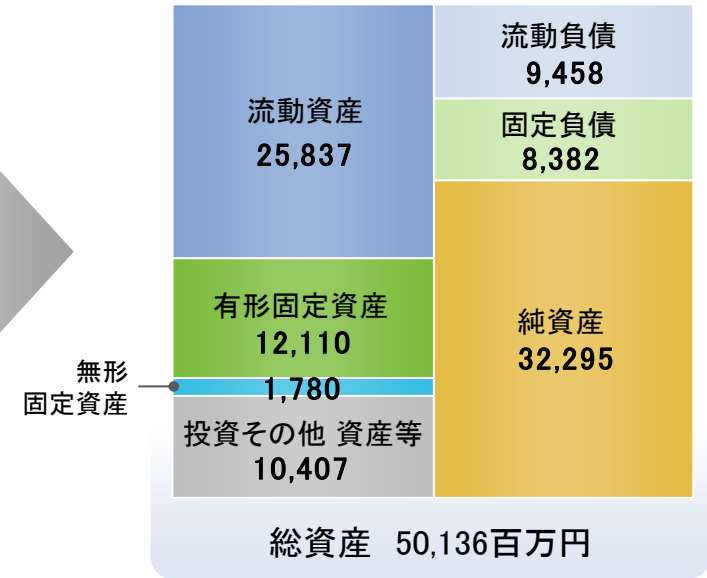


貸借対照表(連結)

2012年3月期末 (百万円)



2013年3月期 第2四半期末 (百万円)



	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他資産等	流動負債	固定負債	純資産
増減額	809	1,626	△460	△357	△2	329	4	476

分析

- 流動資産: 有価証券 1,199、現金及び預金 704、受取手形及び売掛金△454
- 有形固定資産: 新規取得 260、減価償却費 △706
- 無形固定資産: 新規取得 89、減価償却費 △447
- 流動負債: 未払法人税等 782、支払手形及び買掛金 △373
- 純資産: 利益剰余金 547、その他有価証券評価差額金 △110

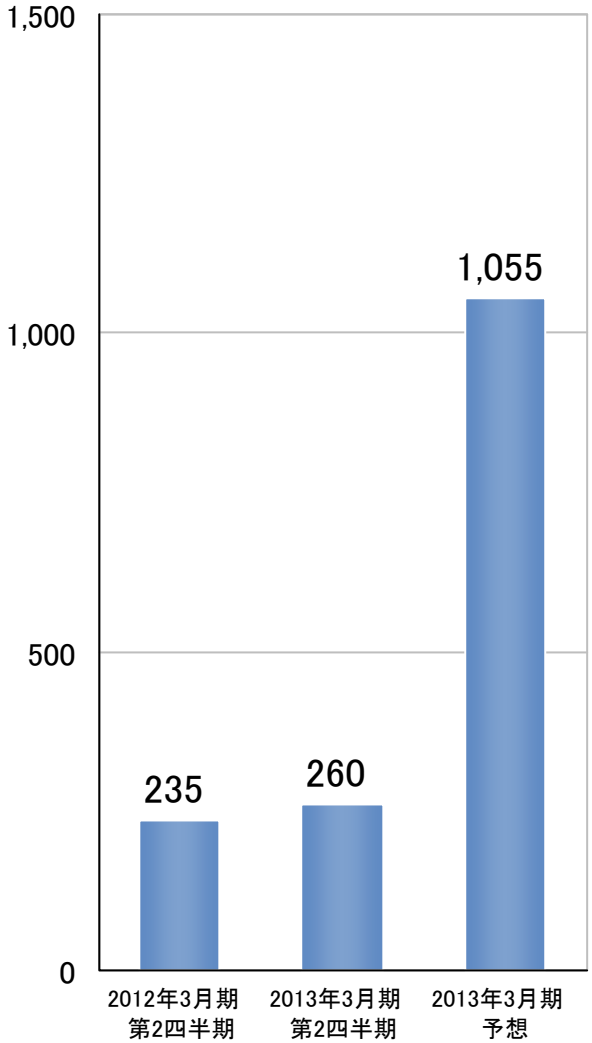
キャッシュ・フロー計算書（連結）

（金額単位：百万円）

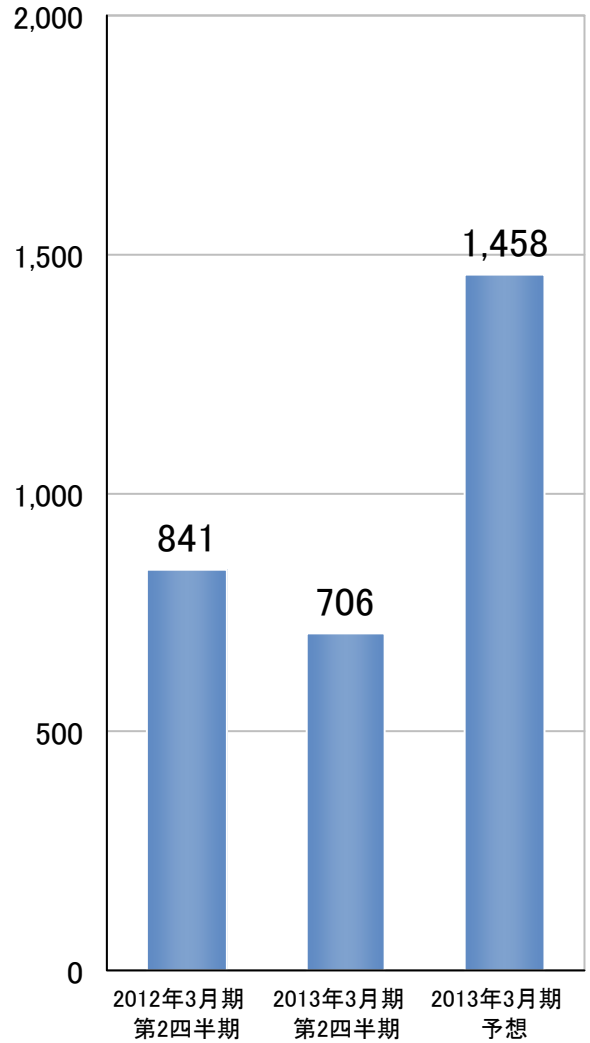
	2012年3月期　第2四半期	2013年3月期　第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△202	2,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	△406	△790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,407	△184
現金及び現金同等物の期末残高	6,073	5,973

設備投資等の概要

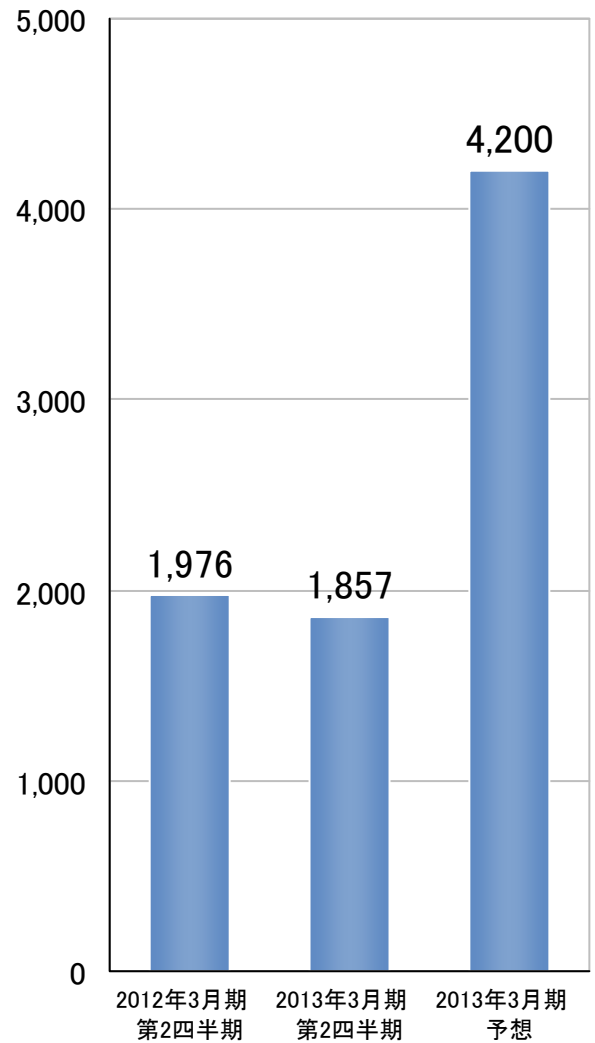
設備投資 （百万円）



減価償却費 （百万円）



研究開発費 （百万円）



2013年3月期予想（連結）

（金額単位：百万円）

	2012年3月期 実績	2013年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	40,637	41,700	1,063	2.6%
営業利益	935	1,100	165	17.5%
経常利益	1,224	1,400	176	14.3%
当期純利益	7	750	743	―

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

広報部

Tel　：03－5484－8366

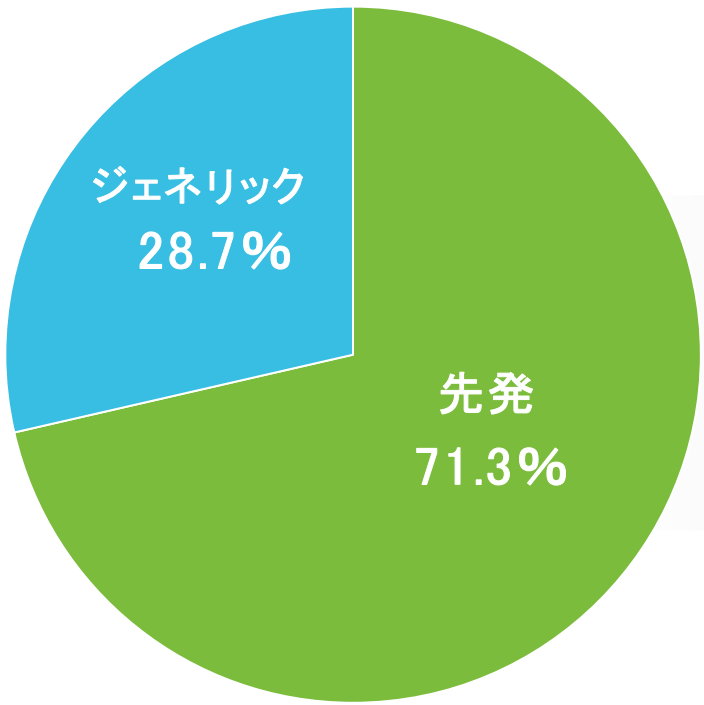
e-mail：chiba-k@aska-pharma.co.jp

担当　：千葉　公

あすか製薬株式会社

ご参考：医療用医薬品の売上構成比・伸張率

2012年3月期　第2四半期



売上伸張率
先発：　△7.9%
後発：　28.3%

2013年3月期　第2四半期

